



素形材製品のバリ取り、表面仕上げ

特集企画趣旨

素形材製造における3要素は材料、機械、工具である。どのような素形材においても機械加工は必須であり、最終工程においては表面仕上げやバリ取りなどの昔からある技術が使用されて、素形材の付加価値を向上させる。

さて、2023年に(一社)バリ取り・表面仕上げ・洗浄協会が設立された。文字通り、これらの技術を生業にした協会である。本稿では、この協会に所属する方々にそれぞれの立場での技術を紹介していただいた。以下に題目と所属を記す。

- AM 部品のポストプロセス技術革新—AM 部品のサポート材除去と面粗さ改善・未融解粉末除去と疲労強度 UP について—
(株)スギノマシン
- どうするバリ取り—遠州地域の「アルミダイカスト部品」バリ取り工程の現状—
(株)アラキエンジニアリング
- ブラシのバリ取り、エッジ仕上げの基礎と事例
(株)バーテック
- 素形材に対するショットとグリットによるピーニング加工面の特性
ショットピーニング技術協会
- 磁気研磨機による微細バリ除去と表面仕上げ
(株)プライオリティ
- 「ウェットブラスト」(湿式ブラスト)工法の特長と素形材加工への適用
マコー(株)

是非、本特集を通して有益な情報を得、素形材づくりに役立てていただきたい。

編集委員 安齋 正博